セゾンエアコン　据付説明書・電気配線工事説明書

FDFVP（セゾンインバータ）　501～1601

PGA012D307

お願い

○下記に示すような場所での据付、使用は避けてください。
▶病院などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近く。ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
▶潮風が当たる所（海浜地区）。外板、熱交の腐食の原因となります。
▶油の飛沫や蒸気の多い所（例：調理場、機械工場）、外気が流入しやすい所での据え付け、使用は避けてください。熱交換機の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
▶腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある場所。揮発性引火物を取り扱う所での据え付け、使用は避けてください。熱交の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。又、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
○溶接作業時などに発生するスパッタが本ユニットにあたった場合、ユニットに損傷を与える可能性があります。ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分な注意をお願いするとともに、ユニット内へのスパッタの侵入を防ぐため梱包状態のままとしてください。

⚠ 注意

○下記に据付け上の注意事項を示しますので必ずお守りください。
▶直射日光の当たる所にリモコンを設置しないでください。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
▶アースを取ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、誤動作や感電の原因になることがあります。
▶漏電ブレーカーの取り付けが必要です。漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電や火災の原因となることがあります。
▶エアコンの重量に十分耐えられる場所に確実に設置してください。据付けに不備があるとユニットの落下によるケガや振動運転音増大の原因になります。
▶冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒濃度が限界濃度（0.3kg/m³）を超える恐れのある場合は、窒息防止のために隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気設置等の取付けが必要となりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

〈お願い事項〉

○取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご指導ください。
○長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご指導ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータ等に通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外のユニットの取り付けはしっかりしていますか。	落下・振動・騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない、暖まらない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない、暖まらない	

① 据付のまえに

○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様
確認してください
配管・配線・小物部品

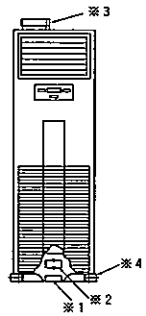
付属品

① フレアナット部断熱用

1	パイプカバー		1個	ガス側用
2	パイプカバー		1個	液側用
3	バンド		4個	

② 据付関係　注）記号1、5は梱包金具兼用です。

1	転倒防止用金具		1個		4	ゴムブッシュ	1個	冷媒・ドレン配管用
2	木ネジ		2個	記号1用	5	L金具	2個	本体（下部）固定用
3	座金		2個	記号2木ネジ用				



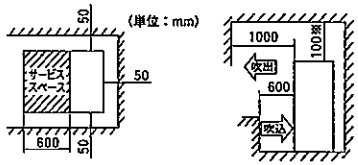
付属品収納場所（梱包時）

※1．吸込グリルを開けると②据付関係の2～4の部品が袋詰めされ、後面板にテープ止めされています。
※2．吸込グリルを開けると①フレアナット部断熱用の1～3の部品が袋詰めされ後面板の上に置かれています。
※3．梱包金具と兼用になっていてユニットを本台に固定しています。
（②据付関係1、固定ネジ1ヶ所）
※4．梱包金具と兼用になっていてユニットを本台に固定しています。
（②据付関係5、固定ネジ左右1ヶ所）

② 室内ユニットの据付場所の選定

（室内機）

据付スペース　下記に示す寸法以上取ってください。



※加湿器を取り付けた場合は500以上取ってください。

⚠警告
- ●据え付けは、重量に十分に耐える所に確実に行ってください。強度不足や取り付けが不完全な場合には、ユニットの落下により、ケガの原因になります。

お願い
- ●点検、メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

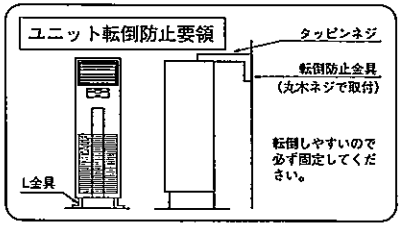
お願い　据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
- ●冷風または温風が十分行きわたる所。
- ●室外への配管、配線のしやすい所。
- ●ドレン排水が完全にできる所。
- ●据付部の床が強固である所。
- ●直射日光の当たらない所。
- ●吸込口、吹出口に風の障害のない所。
- ●火災報知機の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。

③ ユニットの搬入、据付

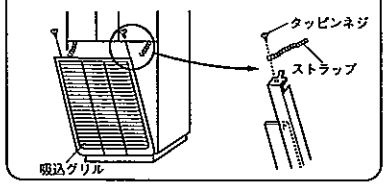
搬　入

お願い
- ●搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
- ●やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包みユニットを傷つけないよう注意してください。
  注）吸込グリル、吹出ルーバ等プラスチック部分を持たないでください。
- ●解梱後、ユニットを置く場合は、必ずユニット前面側を上にして置いてください

ユニット転倒防止要領



⚠注意　ユニット据付後、吸込グリルにストラップをネジ止めしてください。



お願い
- ●ユニットは水平に据付けてください。
  前後、左右共勾配は1°以内としてください。

④ 冷媒配管

は室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

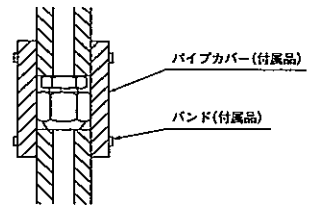
冷媒配管時の注意事項

フレアナット締付トルク

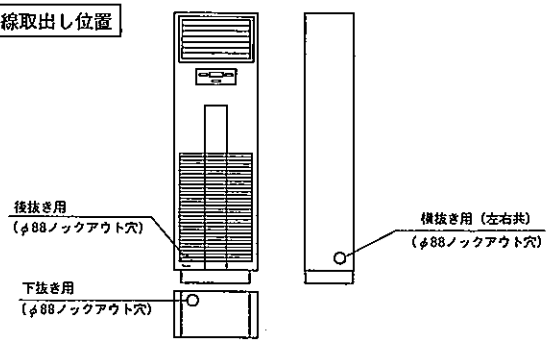
- φ 6.35：14～ 18(N･m)，(1.4～1.8kg･m)
- φ 9.52：34～ 42(N･m)，(3.4～4.2kg･m)
- φ12.7 ：49～ 61(N･m)，(4.9～6.1kg･m)
- φ15.88：68～ 82(N･m)，(6.8～8.2kg･m)
- φ19.05：100～120(N･m)，(10 ～12 kg･m)

ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。

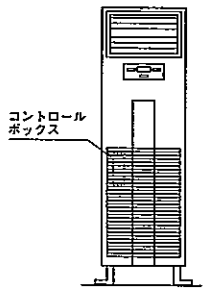
※液側配管は断熱しないと結露し水漏れします。
- ●ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
- ●フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3～4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けでしっかりと締め付けてください。
- ●配管は下記材質のものをご使用ください。なお別売配管セットを使用されると便利です。
  （材質）リン脱酸銅継目無銅管（C1220T、JIS H3300）
- ●室内機のフレア接続部は、ガス漏れチェック後、付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のバンドでしっかりと締め付けてください。
- ●配管は、ねじったり・つぶしたりしないでください。
- ●配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないように施工してください。



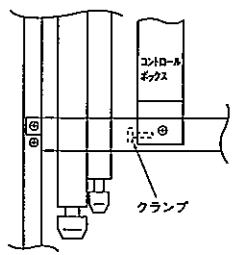
配管・配線取出し位置



コントロールボックス位置及び電源コード経路



- ●吸込グリルを開けると左図に示す場所にコントロールボックスが有ります。
  カバーを外して施工してください。



- ●電源コードは必ずクランプ内を通し、しっかり固定してください。

⑤ ドレン配管

⚠警告

ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接いれないでください。室内に有毒ガスが侵入する恐れがあります。

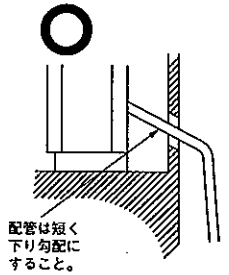
⚠注意

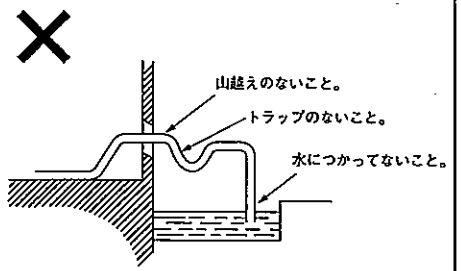
ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するように配管し、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

お願い

- ドレン配管は結露が生じないよう保温してください。（特に室内及びユニット内）
- ドレン配管は下り勾配（1/50~1/100）とし途中山越えやトラップを作らないようにしてください。
- ドレン配管は市販の硬質塩ビパイプVP−20を使用してください。

<接着剤使用不可>





電気配線工事

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

Ⓐ 電源・室内外接続線

お願い

室内外接続線は3心ケーブルを使用してください。

⚠ 警 告

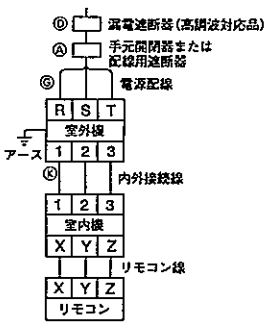
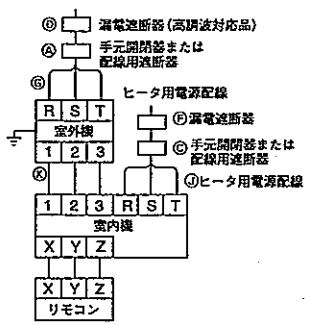
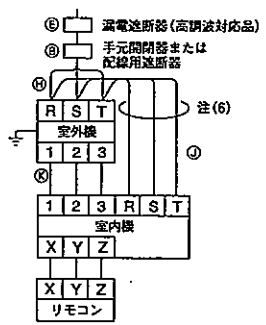
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

⚠ 注 意

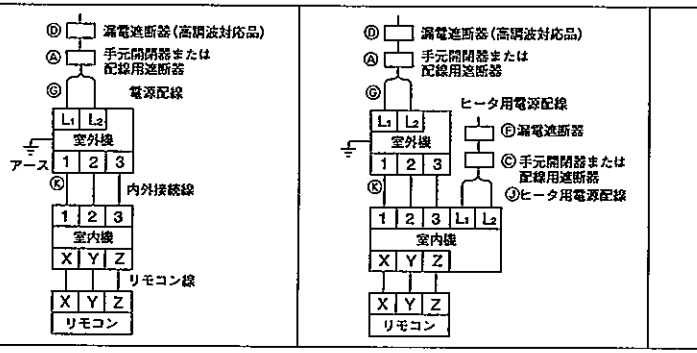
- アース工事を行う。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース線が不完全な場合は感電の原因になります。
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。
- 正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線用遮断器）を使用する。大きな容量のブレーカーを使用すると、故障や火災等の原因になります。

シングル機の結線

①電源の取り方は下表の接続パターンから選定し、行ってください。室内電源取り及び室内外別電源取りは原則できません。（ヒータ用電源は除く）
※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照のうえ、所轄の電力会社にご相談の上指示に従ってください。
②室内外接続線は極性がありますので、必ず同一端子台番号間を接続してください。
③電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
④漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。

	ヒータレス（含む冷専）	ヒータ付（含むヒータ後付時）	
		標準的な接続方法	※ 例外的な接続方法
三相機			

単相機



開閉器・配線仕様

〈シングル・ツイン機：ヒータレス〉

注 (1)配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
Ⓚの記載なき欄の配線こう長は50mです。
(2)室内外接続線Ⓚは総長70mまでとしてください。
(3)衝撃波不動作形のブレーカーを使用してください。

	室外機		漏電遮断器 定格電流	手元開閉器		配線用遮断器	電源配線 注(1)		内外接続線 注(1)	アース線	
				開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数		
			Ⓓ	Ⓐ			Ⓖ		Ⓚ 注(2)	太さ	ネジ
標準機・ヒータレス	単相	P50	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×2	23m	φ1.6×3	φ1.6	M5
		P63	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×2	20m	φ1.6×3	φ1.6	M5
	三相	P50・P63	15A,30mA,0.1sec以下	15A	15A	15A	φ1.6×3	29m	φ1.6×3	φ1.6	M5
		P80	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×3	33m	φ1.6×3	φ1.6	M5
		P112	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm²×3	32m	φ1.6×3	φ1.6	M5
		P140・P160	40A,30mA,0.1sec以下	50A	40A	40A	5.5mm²×3	23m	φ1.6×3	φ2.0	M5

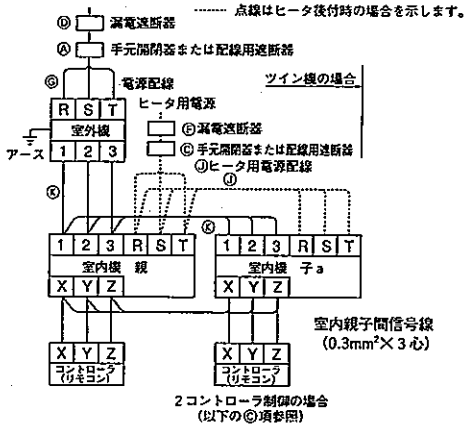
	室外機		漏電遮断器 定格電流	手元開閉器		配線用遮断器	電源配線 注(1)		内外接続線 注(1)	アース線	
				開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数		
			Ⓓ	Ⓐ			Ⓖ		Ⓚ 注(2)	太さ	ネジ
ハイパーインバータ・ヒータレス	単相	P50	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×2	23m	φ1.6×3	φ1.6	M5
		P63～P80	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm²×2	24m	φ1.6×3	φ1.6	M5
	三相	PV50	15A,30mA,0.1sec以下	15A	15A	15A	φ1.6×3	29m	φ1.6×3	φ1.6	M5
		PV63・PV80	20A,30mA,0.1sec以下	30A	20A	20A	φ2.0×3	33m	φ1.6×3	φ1.6	M5
		PV112	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm²×3	23m	φ1.6×3	φ1.6	M5
		PV140・PV160	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm²×3	23m	φ1.6×3	φ1.6	M5

〈シングル機：ヒータ後付時〉

注 (4)ⒶⒹⒼⓀの仕様については上表のヒータレスと同一です。
(5)配線こう長は、電圧降下２%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
Ⓙの記載なき欄の配線こう長は50mです。
(6)室内外接続線Ⓚとヒータ用電源線Ⓙは必ず別ケーブルとしてください。

	室外機		漏電遮断器 定格電流		手元開閉器		配線用遮断器	手元開閉器		配線用遮断器	電源配線 注(5)		ヒータ用電源配線 注(5)		アース線	
					開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数	こう長		
			Ⓔ	Ⓕ	Ⓑ			Ⓒ			Ⓗ		Ⓙ 注(6)		太さ	ネジ
標準機・ヒータ後付時	三相	P50・P63	20A,30mA,0.1sec以下	15A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	15A	15A	15A	φ2.0×3	31m	φ1.6×3	32m	φ1.6	M5
		P80	20A,30mA,0.1sec以下		30A	20A	20A	15A	15A	15A	5.5mm²×3	41m	φ1.6×3	27m	φ1.6	M5
		P112	30A,30mA,0.1sec以下		30A	30A	30A	15A	15A	15A	5.5mm²×3	23m	φ1.6×3	25m	φ1.6	M5
		P140・P160	40A,30mA,0.1sec以下		50A	40A	40A	15A	15A	15A	8.0mm²×3	27m	φ1.6×3	22m	φ2.0	M5

ツイン機の結線



①室内親・子機間は端子台①②③及びⓍⓎⓏの同一番号間を接続してください。
②室内基板上のロータリスイッチSW2により、同一冷媒系統すべての室内機を同一アドレスに設定してください。
③室内子機は、室内基板上のアドレススイッチSW5-1,SW5-2により、子a～子cに設定してください。

④電源投入後、リモコンの「エアコンNo／点検」スイッチを押し、接続されている室内親・子機No.がリモコンに表示される事を必ず確認してください。

室内機の親・子設定方法

工場出荷時「親」設定		室内機	
		親	子a
室内基板アドレススイッチ	SW5-1	OFF	OFF
	SW5-2	OFF	ON

ハイパーインバータ・ヒータ後付時	室外機		漏電遮断器 定格電流		手元開閉器		配線用遮断器	手元開閉器		配線用遮断器	電源配線 注(5)		ヒータ用電源配線 注(5)		アース線	
					開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	開閉器容量	B種ヒューズ	定格電流	太さ×本数	こう長	太さ×本数	こう長		
			Ⓔ	Ⓕ	Ⓑ			Ⓒ			Ⓗ		Ⓙ 注(6)		太さ	ネジ
	三相	PV50	20A,30mA,0.1sec以下	15A, 30mA, 0.1sec以下	30A	20A	20A	15A	15A	15A	φ2.0×3	31m	φ1.6×3	32m	φ1.6	M5
		PV63	30A,30mA,0.1sec以下		30A	20A	20A	15A	15A	15A	5.5mm²×3	32m	φ1.6×3	27m	φ1.6	M5
		PV80	30A,30mA,0.1sec以下		30A	30A	30A	15A	15A	15A	5.5mm²×3	28m	φ1.6×3	25m	φ1.6	M5
		PV112~PV160	40A,30mA,0.1sec以下		50A	40A	40A	15A	15A	15A	8.0mm²×3	28m	φ1.6×3	22m	φ2.0	M5

〈ツイン機：ヒータ後付時〉

注 (7) ⒶⒹⒼⓀの仕様については上表のヒータレスと同一です。
(8) 配線太さⒿは20mまでの電圧降下(2%)を見込んであります。現地の配線が20mを越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
(9) 室内機にヒータ装着した場合、室外機アース線太さを見直してください。

ヒータ後付時	室内ヒータ合計容量	漏電しゃ断器(A)	開閉器（A）	配線太さ φmm 又は mm² 注(8)
		Ⓕ	Ⓒ	Ⓙ
	4.3kw以下	15	30	φ1.6
	5.0kw以下	15	30	φ2.0
	6.9kw以下	20	30	φ2.0

室外形式	アース線	
	太さ φmm 又は mm²	ねじ
160	5.5	M6

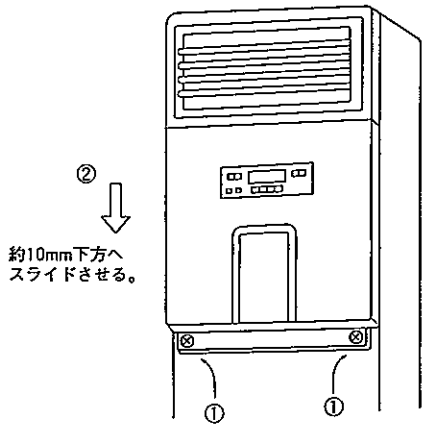
Ⓑ 操作パネル(リモコン)

操作パネル(リモコン)の点検方法

●操作パネルの設定を変更する等により、操作パネルを取りはずす場合

※操作パネルは、センターパネルを取りはずし、センターパネル裏面より、取りはずします。

①吸込みグリルを取りはずし、センターパネル下部のタッピンネジ2箇所をはずします。
②センターパネルを約10mm下方へスライドさせた後手前に引き出し、センターパネルを本体より取りはずします。
③センターパネル裏面の、操作パネル固定タッピンネジ2箇所をはずし、操作パネルを取りはずします。



操作パネルコードを延長する場合の注意

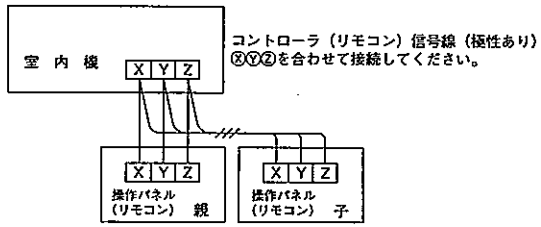
▶ 最大総延長600m

コードは必ずシールド線を使用してください。
●全形式：0.3mm²×3心［MVVS3C（京阪電線）］
注 (1) 延長距離が100mを超える場合は下記のサイズに変更してください。
100～200m以内……0.5mm²×3心
～300m以内……0.75mm²×3心
～400m以内……1.25mm²×3心
～600m以内……2.0mm²×3心
●シールド線は必ず片方のみをアースしてください。

Ⓒ 複数操作パネル（リモコン）使用時の親子設定

室内ユニット1台（又は1グループ）に対して最大2個までのコントローラ（リモコン）を接続できます。

①子操作パネル（リモコン）の操作パネル（リモコン）連結線（3心）は室内ユニットから取る方法と親操作パネル（リモコン）からの渡り配線による方法があります。

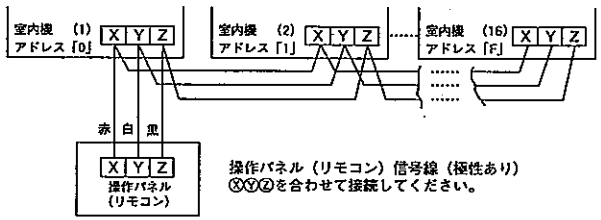


②子操作パネル（リモコン）のジャンパ線J11を子に設定（開放）してください。工場出荷時は親設定です。

Ⓓ 1操作パネル（リモコン）による複数台室内ユニット制御

室内ユニット最大16台まで接続可能です。

①各室内ユニット間を3心の操作パネル（リモコン）線にて渡り配線してください。延長操作パネル（リモコン）線については、前記の項〔操作パネル（リモコン）コードを延長する場合の注意〕をご覧ください。
②室内基板上のロータリースイッチSW1により、操作パネル（リモコン）通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

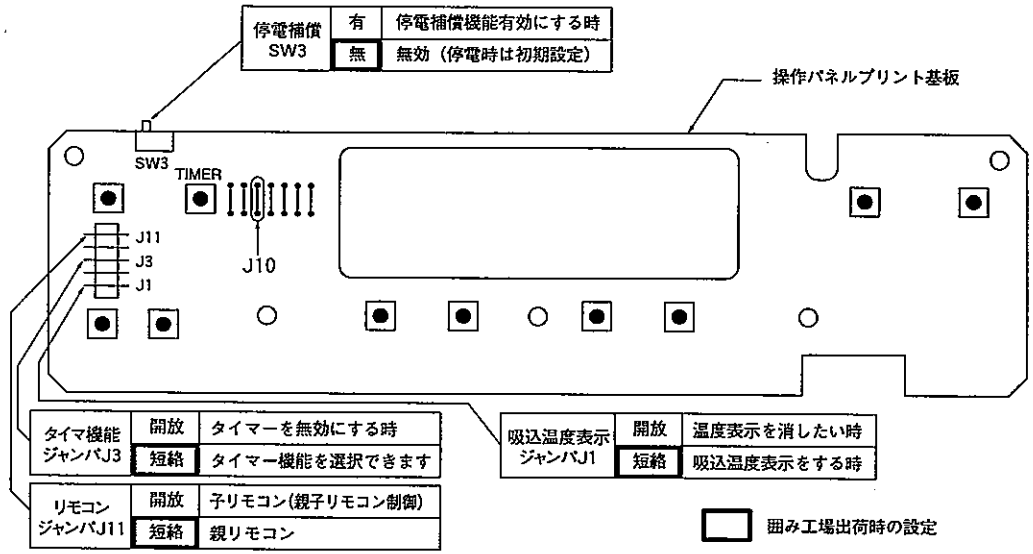


③電源投入後、操作パネル（リモコン）の「エアコンNo／点検」スイッチを押し、接続されている室内機アドレスが操作パネル（リモコン）に表示されることを必ず確認してください。

FDFV

Ⓔ 機能の設定

操作パネルの取り外し方は上記の操作パネル(リモコン)の点検方法をご参照ください。



Ⓕ 冷房試運転操作

操作パネル（リモコン）を次の手順で操作してください。

①「運転」ボタンを押して、運転する。

②「モード」スイッチにより冷房を選択する。

③「▽」スイッチと「セット」スイッチを同時に押す。

設定温度が5℃になり、室温表示部が、室内熱交温度情報に変わります。

表 示	室内熱交温度
n3	24℃以上
n2	16～24℃
n1	8～16℃
n0	8℃以下

●試運転時、正常に動作しない場合は、室内・外ユニットに貼付の結線銘板の点検表示を参照し、点検してください。

床置形（セゾンインバータ） 24-7/12

セゾンエアコン　据付説明書・電気配線工事説明書

FDFVP　2241，2801

PGA012D308

お願い

○下記に示すような場所での据付、及び使用は避けてください。
(1) 病院などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近く。ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
(2) 潮風が当たる所（海浜地区）。外板、熱交の腐食の原因となります。
(3) 油の飛沫や蒸気の多い所（例：調理場、機械工場）、外気が流入しやすい所での据え付け、使用は避けてください。熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
(4) 腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある場所。揮発性引火物を取り扱う所での据え付け、使用は避けてください。熱交の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。又、可燃性ガスは発火の原因になることがあります。
○溶接作業時などに発生するスパッタが本ユニットにあたった場合、ユニットに損傷を与える可能性があります。ユニットの近くで溶接作業を行う場合は十分な注意をお願いするとともに、ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしてください。

⚠注意

○下記に据付け上の注意事項を示しますので必ずお守りください。
●直射日光の当たる所にリモコンを設置しないでください。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
●アースを取ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は誤動作や感電の原因になることがあります。
●漏電ブレーカの取り付けが必要です。漏電ブレーカが取り付けられていないと感電や火災の原因となることがあります。
●エアコンの重量に十分耐えられる場所に確実に設置してください。据付けに不備があるとユニットの落下によるケガや振動運転音増大の原因になります。
●冷媒ガスが漏れた時、室内の冷媒濃度が限界濃度（0.3kg/m³）を超える恐れのある場合は、窒息防止のために隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置等の取付けが必要となりますので、お買上げの販売店にご相談ください。

〈お願い事項〉

○取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご指導ください。
○長時間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご指導ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータ等に通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内外ユニットの取り付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない、暖まらない	
脱熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレンはスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体に表示の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
電線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない、暖まらない	

据付のまえに

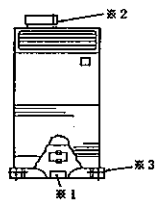
○据付はこの据付説明書に従って正しく行なってください。
○工事計画にあっておりますか。

機種・電源仕様
確認してください
配管・配線・小物部品

付属品

据付関係　注）記号1、6は梱包金具兼用です。

①	転倒防止金具		1個		④	座金		2個	記号③木ねじ用
②	タッピンねじ		5個	記号1用（内3個予備）	⑤	ゴムブッシュ		1個	冷媒・ドレン配管用
③	木ねじ		2個	記号1用	⑥	L金具		2個	本体(下部)固定用
					⑦	付属配管セット		1セット	右、後、(下)抜き用



付属品収納場所（梱包時）

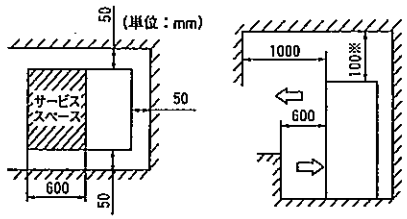
※1．吸込グリルを開けると据付関係の②~⑤の部品が袋詰めされ、後面板にテープ止めされています。
※2．梱包金具と兼用になっていてユニットを本台に固定しています。（据付関係①、固定ねじ1ヶ所）
※3．梱包金具と兼用になっていてユニットを本台に固定しています。（据付関係⑥、固定ねじ左右1ヶ所）

FDFV

据付場所の選定

（室内機）

据付スペース 下記に示す寸法以上取ってください。



⚠警告

- 据え付けは重量に十分に耐える所に確実に行ってください。強度不足や取り付けが不完全な場合には、ユニットの落下により、ケガの原因になります。

お願い

- 点検、メンテナンス作業のためのスペースを確保してください。

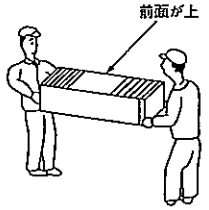
お願い 据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

- 冷風または温風が十分行きわたる所。
- 室外への配管、配線のしやすい所。
- ドレン排水が完全にできる所。
- 据付部の床が強固である所。
- 直射日光のあたらない所。
- 吸込口、吹出口に風の障害物のない所。
- 火災報知器の誤動作しない所、ショートサーキットしない所。

※加湿器を取り付けた場合は500以上取ってください。

ユニットの搬入、据付

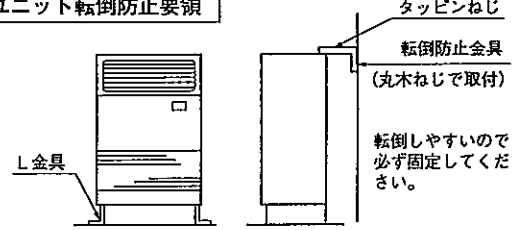
搬　入



お願い

- 搬入時は、できるだけ据付現場の近くまで、梱包のまま搬入してください。
- やむをえず解梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包みユニットを傷つけないよう注意してください。
  注）吸込グリル、吹出ルーバ等プラスチック部分を持たないでください。
- 解梱後、ユニットを置く場合は、必ずユニット前面側を上にして置いてください。

ユニット転倒防止要領



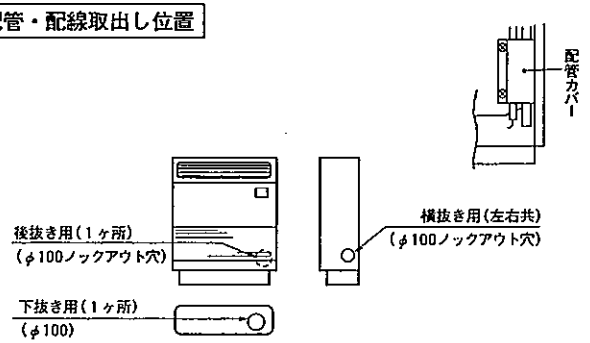
お願い

- ユニットは水平に据付けてください。
  前後、左右共勾配は1°以内としてください。

冷媒配管

は室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

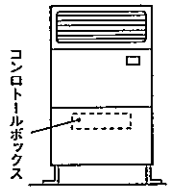
配管・配線取出し位置



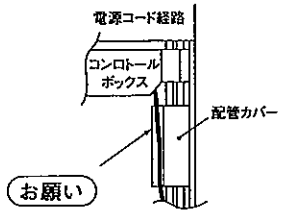
お願い

- 配管部に取り付けてある配管カバー（タッピンねじ2ヶ所固定）を必ず外して施工してください。
- 右抜きの場合の付属品⑦の付属配管セットを使用してください。左、下、後抜きの場合は、付属配管セットの配管を流用して配管セットに付属の説明書に従って、施工してください。
- 配管施工後、配管カバーは必ず取り付けてください。取り付けないと配管のふくらみにより吸込グリルが付かないことがあります。
- ろう付時にドレンホースを焼かないようご注意ください。

コントロールボックス位置及び電源コード経路



●吸込グリルを開けると上図に示す場所にコントロールボックスがあります。
カバーを外して施工してください。



電源コードは必ず配管カバーの横を通してください。
配管カバーの内にはいれないでください。

ドレン配管

⚠ 警告

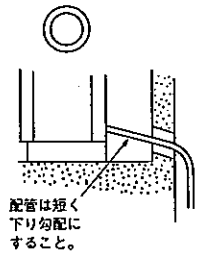
ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガスの発生する排水溝に直接いれないでください。室内に有害ガスが侵入する恐れがあります。

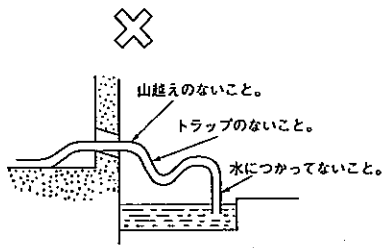
⚠ 注意

●ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

お願い

●ドレン配管は結露が生じないよう保温してください。（特に室内及びユニット内）
●ドレン配管は下り勾配（1/50~1/100）とし、途中山越えやトラップを作らないようにしてください。
●ドレン配管は市販の硬質塩ビパイプVP--20を使用してください。





電気配線工事

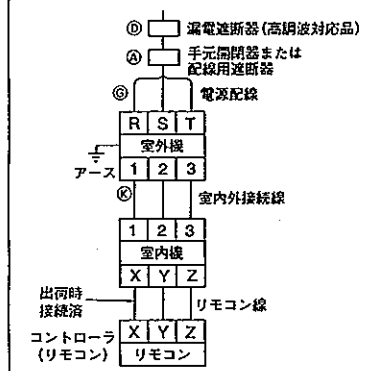
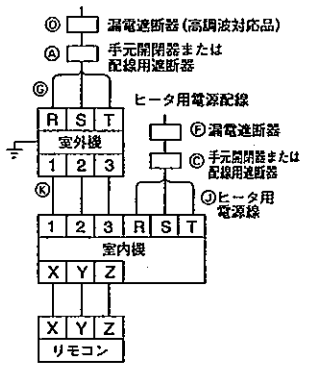
電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

Ⓐ 電源・室内外接続線

お願い
室内外接続線は3心ケーブルを使用してください。

シングル機の結線

①電源の取り方は下表の接続パターンから選定し、行ってください。室内電源取り及び室内外別電源取りは原則できません。（ヒータ用電源は除く）
※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照のうえ、所轄の電力会社にご相談の上指示に従ってください。
②室内外接続線は極性がありますので、必ず同一端子台番号間を接続してください。
③電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
④漏電遮断器は、高調波対応品を使用してください。
⑤漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。

	ヒータレス（含む冷専）	ヒータ後付時
三相機		

開閉器・配線仕様

〈シングル機：ヒータレス〉

注（1）配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
Ⓚの記載なき欄の配線こう長は50mです。
（2）室内外接続線Ⓚは総長70mまでとしてください。

	室外機		漏電遮断器 定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用遮断器 定格電流	電源配線 注(1) 太さ×本数	電源配線 注(1) こう長	内外接続線 注(1) 太さ×本数	内外接続線 注(1) こう長	アース線 太さ	アース線 ネジ
			Ⓓ	Ⓐ			Ⓖ		Ⓚ 注(2)			
標準機 ヒータレス	三相	P224	50A,100mA,0.1sec以下	60A	50A	50A	8.0mm²×3	24m	φ1.6×3	49m	5.5	M6
		P280	60A,100mA,0.1sec以下	60A	60A	60A	14.0mm²×3	34m	φ1.6×3	43m	5.5	M6

	室外機		漏電遮断器 定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用遮断器 定格電流	電源配線 注(1) 太さ×本数	電源配線 注(1) こう長	内外接続線 注(1) 太さ×本数	内外接続線 注(1) こう長	アース線 太さ	アース線 ネジ
			Ⓓ	Ⓐ			Ⓖ		Ⓚ 注(2)			
ハイパーインバータ ヒータレス	三相	VP224	60A,100mA,0.1sec以下	60A	60A	60A	8.0mm²×3	24m	φ1.6×3	43m	5.5	M6
		VP280		60A	60A	60A	14.0mm²×3	34m	φ1.6×3	43m	5.5	M6

〈シングル機：ヒータ付〉

注（3）Ⓐ Ⓓ Ⓖ Ⓚの仕様については上表のヒータレスと同一です。
（4）配線こう長は、電圧降下２%とした場合を示します。表示の配線こう長を越える場合は、内線規程により配線太さを見直してください。
Ⓙの記載なき欄の配線こう長は50mです。
（5）室内外接続線Ⓚとヒータ用電源線Ⓙは必ず別ケーブルとしてください。

	室外機		漏電遮断器 定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用遮断器 定格電流	ヒータ用電源配線 注(5) 太さ×本数	ヒータ用電源配線 注(5) こう長	アース線 太さ	アース線 ネジ
			Ⓕ	Ⓒ			Ⓙ 注(6)			
標準機 ヒータ後付時	三相	P224	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	φ2.0×3	22m	5.5	M6
		P280		30A	30A	30A	5.5×3	33m	5.5	M6

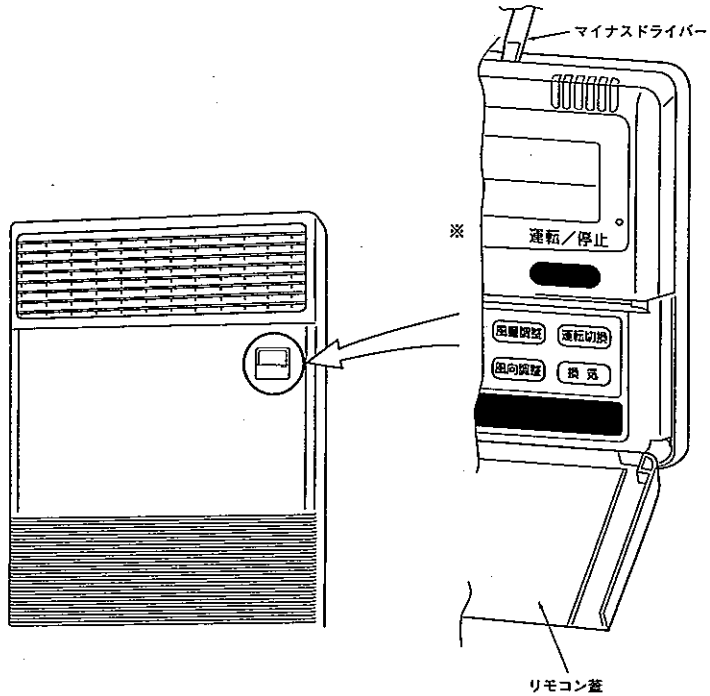
	室外機		漏電遮断器 定格電流	手元開閉器 開閉器容量	手元開閉器 B種ヒューズ	配線用遮断器 定格電流	ヒータ用電源配線 注(5) 太さ×本数	ヒータ用電源配線 注(5) こう長	アース線 太さ	アース線 ネジ
			Ⓕ	Ⓒ			Ⓙ 注(6)			
ハイパーインバータ ヒータ後付時	三相	VP224	30A,30mA,0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5×3	33m	5.5	M6
		VP280		30A	30A	30A	5.5×3	33m	5.5	M6

Ⓑ リモコン

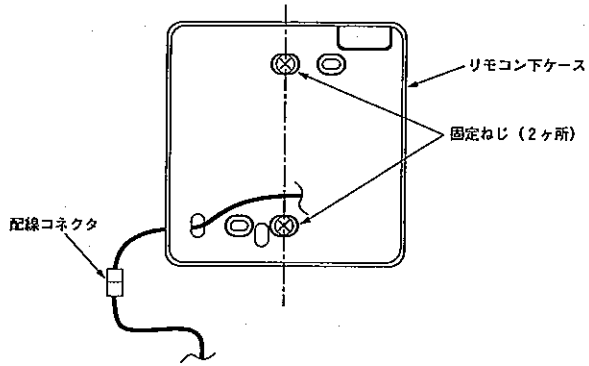
リモコンの点検方法

●万一のトラブルによりリモコンを取りはずす方法
1．フロントパネル右上のリモコンの蓋をあけてください。
2．※下図に従い、上ケースを外し手前にゆっくり引き出してください。プリント基板、配線がついているので十分ご注意ください。
3．リモコン下ケースの固定ネジ２ヶ所をはずし、リモコン本体を手前に引き出し、下方にある配線コネクタをはずしてください。

この上ケースと下ケースの合せ部の溝にマイナスドライバーをいれて、上ケースを手前に引張り上げると上ケースが外れます。
上ケースを手前にゆっくり引き出してください。
プリント基板、配線がついているので十分ご注意ください。

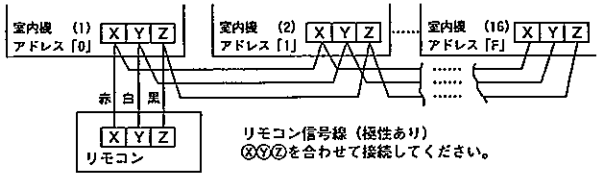


リモコン下ケースの固定ネジ２ヶ所をはずしリモコン本体を手前に引き出し下方にある配線コネクタをはずす。



Ⓒ 1リモコンによる複数台室内機制御

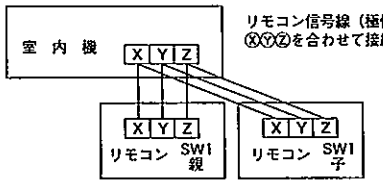
室内ユニット最大16台まで接続可能です。
①各室内ユニット間を3心のリモコン線にて渡り配線してください。
延長リモコン線については、前記の項〔リモコンコードを延長する場合の注意〕をご覧ください。
②室内基板上のロータリースイッチSW1により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。



③電源投入後、リモコンのエアコンNoを押すと室内機アドレスが表示されますので、▲ ▼ ボタンで接続されている室内機アドレスがリモコンに表示されることを、必ず確認してください。

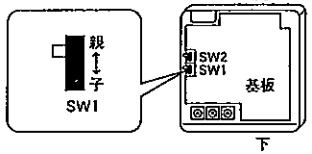
Ⓓ 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台（又は1グループ）に対して最大2個までのリモコンを接続できます。
①子リモコンのリモコン連絡線（3心）は室内ユニットから取る方法と親リモコンからの渡り配線による方法があります。



②子リモコンの切換スイッチSW1を子に設定してください。
工場出荷時は親設定です。
（注）リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。
親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

スイッチ	設定	機能の内容
SW 1	親	親リモコン
	子	子リモコン



Ⓔ 別売リモコンを使用する場合

リモコンは別売です。

リモコンの据付

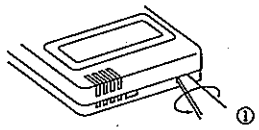
お願い 次の位置は避けてください。

1）直射日光の当たる場所
2）発熱器具の近く
3）湿気の多い所・水の掛る所
4）取付面に凸凹がある所

注意
リモコンの上ケースを取り外した場合は、リモコンを据付けるまで、基板上にゴミ或いは水分等が付着しないように、梱包箱或いは梱包用袋内に入れて保護してください。

取付要領

露出取付

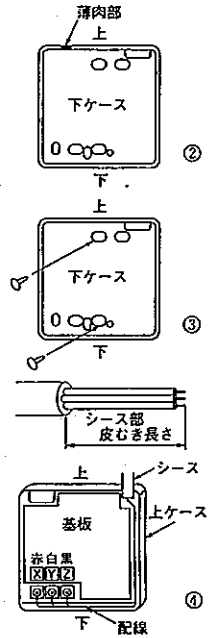


①リモコンケースをはずしてください。
●リモコン上部の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースをはずします。
②リモコンコードの取出し方向は、上方向のみ可能です。
●リモコン下ケース側の上方薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。
③リモコン下ケースを付属の木ねじ2本で壁に取り付けます。
④リモコンコードを端子台に接続してください。室内機とリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子には極性があるので間違えると運転できません。

端子：Ⓧ赤線、Ⓨ白線、Ⓩ黒線

リモコンコードは、0.3mm²(推奨)～最大0.5mm²以下としてください。
また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。
各配線の皮むき長さは下記の通りです。

黒：195mm
白：205mm
赤：215mm

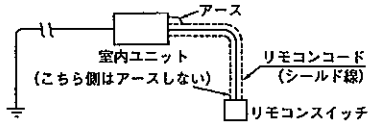


⑤上ケースを元通りに取り付けてください。
⑥リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。
⑦室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。

Ⓕ 機能の設定の項をご覧ください。

リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

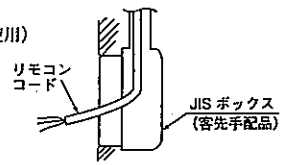
コードは必ずシールド線を使用してください。
●全形式：0.3mm²×3心〔MVVS3C（京阪電線）〕
注(1)延長距離が100mを超える場合は、下記のサイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。
100～200m以内……0.5mm²×3心
300m以内……0.75mm²×3心
400m以内……1.25mm²×3心
600m以内……2.0mm²×3心
●シールド線は必ず片側のみをアースしてください。



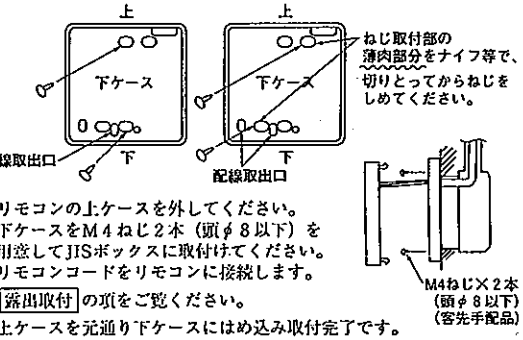
埋込取付

①JISボックスとリモコンコード（延長の場合はシールド線を必ず使用）をあらかじめ埋込んでおきます。

〔使用可能JISボックス〕
●JIS C 8336
1個用スイッチボックス
2個用スイッチボックス



1個用スイッチボックスの場合　2個用スイッチボックスの場合



②リモコンの上ケースを外してください。
③下ケースをM4ねじ2本（頭φ8以下）を用意してJISボックスに取付けてください。
④リモコンコードをリモコンに接続します。
露出取付 の項をご覧ください。
⑤上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。
⑥室内機の機能や用途に合わせて、機能設定をしてください。

Ⓕ 機能の設定の項をご覧ください。

FDFV

Ⓕ 機能の設定

●本機の各機能は、リモコンと室内機を接続した際に、標準的な設定である、下表「○」印の項目に、自動的に設定されます。
従って、新たに設定をする必要はありません。
但し、「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定をしてください。
設定方法は、リモコンの据付説明書をご覧ください。
●／の項目は、本機には機能がありませんので、設定しないでください。

(1) リモコン機能

機能番号Ⓐ	機能内容Ⓑ	設定内容Ⓒ	初期設定
01	ｸﾞﾘﾙ昇降設定	昇降無効	○
		有効50Hz地区	
		有効60Hz地区	
02	自動運転設定	自動運転有効	○
		自動運転無効	
03	温度設定	温度設定有効	○
		温度設定禁止	
04	運転切換	運転切換有効	○
		運転切換禁止	
05	運転/停止	運転/停止有効	○
		運転/停止禁止	
06	風量調整	風量調整有効	○
		風量調整禁止	
07	風向調整	風向調整有効	○
		風向調整禁止	
08	ﾀｲﾏｰ	ﾀｲﾏｰ有効	○
		ﾀｲﾏｰ禁止	
09	ﾘﾓｺﾝｾﾝｻ設定	ﾘﾓｺﾝｾﾝｻ無効	○
		ﾘﾓｺﾝｾﾝｻ有効	
10	停電補償設定	停電補償無効	○
		停電補償有効	
11	換気設定	換気接続なし	○
		換気運動	
		換気非運動	
12	温度範囲設定	表示変更有	○
		表示変更無	
13	室内ﾌｧﾝ運調	ﾌｧﾝ3速	
		ﾌｧﾝ2速	○
		ﾌｧﾝ1速	
14	冷専/ﾋｰﾎﾟﾝ	ﾋｰﾎﾟﾝ	○
		冷専	
15	外部入力設定	個別運転	○
		全台同一運転	
16	ｴﾗｰ表示設定	ｴﾗｰ表示有り	○
		ｴﾗｰ表示無し	
17	ﾙｰﾊﾞ制御設定	ﾙｰﾊﾞ4位置停止	
		ﾙｰﾊﾞﾌﾘｰ停止	○

(2) 室内機能

機能番号Ⓐ	機能内容Ⓑ	設定内容Ⓒ	初期設定
01	高天井設定	標準	○
		高天井1	
03	ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ設定	表示しない	
		180時間後	○
		600時間後	
		1000時間後	
		1000時間→停止	
04	ﾙｰﾊﾞ制御設定	ﾙｰﾊﾞ4位置停止	
		ﾙｰﾊﾞﾌﾘｰ停止	○
05	外部入力切換	ﾚﾍﾞﾙ入力	○
		ﾊﾟﾙｽ入力	
06	運転許可／禁止	通常運転	○
		有効	
07	暖房室温補正	通常運転	○
		室温補正+3℃	
08	暖房ﾌｧﾝ制御	弱風	○
		停止→弱風	
09	凍結防止温度	2.5℃	
		1℃	○
10	凍結防止制御	ﾌｧﾝ制御有効	○
		ﾌｧﾝ制御無効	
11	電気集塵機	ﾌｧﾝ制御無効	○
		ﾌｧﾝ制御有効	
12	加湿器制御	ﾄﾞﾚﾐｰﾀ非運動	○
		ﾄﾞﾚﾐｰﾀ運動	

Ⓖ 冷房試運転操作

リモコンを次の手順で操作してください。
1．冷房試運転の開始
① 運転／停止ボタンを押して、運転します。
② 運転切換ボタンにより、「冷房」を選択します。
③ 試運転ボタンを3秒以上押します。
「項目◆で選択」→「セットで決定」→
「冷房試運転▼」と、表示が切り換わります。
④「冷房試運転▼」の表示で、セットボタンを押すと、冷房試運転を開始します。
表示は、「冷房試運転」となります。
2．冷房試運転の解除
運転／停止ボタン又は、温度設定▽△ボタンを押すと、冷房試運転を終了します。
「冷房試運転」表示が消灯します。

運転データの確認

リモコン操作により、運転データの確認ができます。
① 点検ボタンを押します。
「項目◆で選択」→「セットで決定」→「運転データ表示▼」と、表示が切り換わります。
②「運転データ表示▼」の表示で、セットボタンを押します。
③表示が「室内00▲」（点滅）となります。
▲▼ボタンで、表示したい室内機番号を選びます。
（室内機が一台しか接続されていない時は、室内番号は切り換わりません。）
④セットにより確定します。
（室内機番号が点滅から点灯に変わります。）
「データ読込中」（データを読込む間点滅表示）
↓
「運転データ◆」と表示され、01番のデータが表示されます。
⑤▲▼ボタンにより、現在の運転データを01番より順に表示します。
表示される項目は右記の通りです。
※機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。
⑥室内機を変更する場合は、エアコンNo.ボタンを押すことにより、室内機選択表示に戻ります。
⑦ 運転／停止ボタンを押すと、終了します。

設定の途中で、リセットボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。

番号	ﾃﾞｰﾀ項目
01	運転ﾓｰﾄﾞ
02	設定温度
03	吸込温度
04	内熱交温度1
05	内熱交温度2
07	室内ﾌｧﾝ速度
11	室内運転時間
21	外気温度
22	外熱交温度1
23	外熱交温度2
24	運転Hz
26	低圧
27	吐出管温度
28	ﾄｰﾙ下温度
29	CT電流
31	室外ﾌｧﾝ速度
32	静音ﾓｰﾄﾞ有効/無効
33	63H2 ON/OFF
34	63H1 ON/OFF
35	ﾃﾞﾌﾛｽﾄ ON/OFF
36	ｺﾝﾌﾟ運転時間
37	膨張弁開度1
38	膨張弁開度2

Ⓗ 制御の切換

(注)□囲みは、工場出荷時の設定

J-1	短絡	遠方運転入力（CnT）をレベル入力	SW9-1 SW9-2	オートリフトパネルの降下長さの設定	
	開放	遠方運転入力（CnT）をパルス入力			
J-2	短絡	暖房サーモOFF時弱風	SW9-3	OFF	―――
	開放	暖房サーモOFF後5分間停止し弱風		ON	防急運転（基板上のコネクタCn5も同時に抜く）
J-3	短絡	通常運転	SW9-4	OFF	―――
	開放	遠方運転入力（CnT）により運転制御		ON	高天井制御（ファン目標値アップ）
J-4	短絡	―――			
	開放	暖房室温検知補正+3℃			